

カンボジア国地雷除去地等の農業不適合地でのハトムギの バリューチェーン構築と外国人材還流に係る案件化調査

西田精麦株式会社(熊本県八代市)



対象国農業分野における開発ニーズ(課題)

- ・農家の収入の安定化
- ・耕作不適合地の活用
- ・一次加工施設の併設による地域産業の振興
- ・換金作物の多様化

提案製品・技術

- 1 一貫したバリューチェーン(栽培/加工/流通/商品化/販売)の保有
- 2 途上国におけるハトムギバリューチェーン構築経験とノウハウ
- 3 DX技術を用いた栽培指導・品質管理ノウハウ
- 4 外国人材還流とグローバルコミュニケーションの実績

案件概要

- ・ 契約期間: 2023年3月~2024年2月
- ・ 対象国・地域: カンボジア国プノンペン都、バタンバン州、モンドルキリ州、ココン州、コンポントム州
- ・ 相手国実施機関: カンボジア国農林水産省、カンボジア地雷対策・被害者支援庁カンボジア地雷対策センター
- ・ 案件概要: 作物栽培不適合地などを活用したハトムギバリューチェーンの構築と、それに係る外国人材還流の仕組み構築を同時に行うことで、経済発展を促進し、カンボジア国農村地域の貧困撲滅や地域の経済成長を促す。



開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・ 現地農業生産法人・NGOなどと連携し、農家や農民組織に対し栽培技術研修を実施する。
- ・ 栽培・一次加工・輸出までのバリューチェーンを構築する
- ・ 地雷撤去跡地でハトムギ栽培を行う
- ・ 本邦、カンボジア双方での外国人還流事業パートナーとの関係を構築する

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・ 栽培技術移転による、低栽培技術、低単収、農業指導不足等の問題解決
- ・ バリューチェーンの構築により、製品価値向上及び農家所得の向上
- ・ 地雷撤去跡地の農地活用
- ・ 農業人材の外国人還流を活用したビジネスモデルの構築

2023年3月現在